

秀峰ロボコンで全国へ

中学生部門初出場で県大会制す

松本市の松本秀峰中

等教育学校2年の小林

幸太郎君(13)、百瀬

公多朗君(13)、山本

遼君(14)の3人でつ

くるチームが、このほ

ど茅野市で行われたロ

ボットコンテスト「ワ

ールドロボットオリン

ピードロジャパン県大

会」の中学生部門で優

勝した。17日に東京都

で開催される全国大会

に県代表として出場す

る。競技はプログラムで

自動制御した自作のロ

ボットを使う。くねく

ねしたコースをたど

り、円柱やブロックの

おもちゃなどを所定の

位置に運ぶ正確さを競

う。

運ぶ物体は試合直前

に抽選で決まるルール

で、センサーで物体の

色を正確に読み取り、

色に応じた行動を取る

という複雑なプログラ

ムを組めるかが攻略の

鍵になった。ゴール地

点も当日に指定される

ことから、即興でプロ

グラムを書き換える力

も試された。

3人は色を正確に感

知できたかを音で知ら

せる機構をロボットに

組み込んで効率よく開

発を進めた。1回目は

ロボットがゴール直前

で障害物に引っかかっ

てしまったが、手際よくプログラムを修正して2回目で成功させた。出場11チーム中唯一、満点を記録して優勝した。

3人は放課後に希望

者を対象に行われてい

る学校のプログラム教

育に参加し、知識と技

術を磨いてきた。5月

からロボットの製作を

進め、初出場でいきな

り優勝を果たした。

「県大会ではロボット

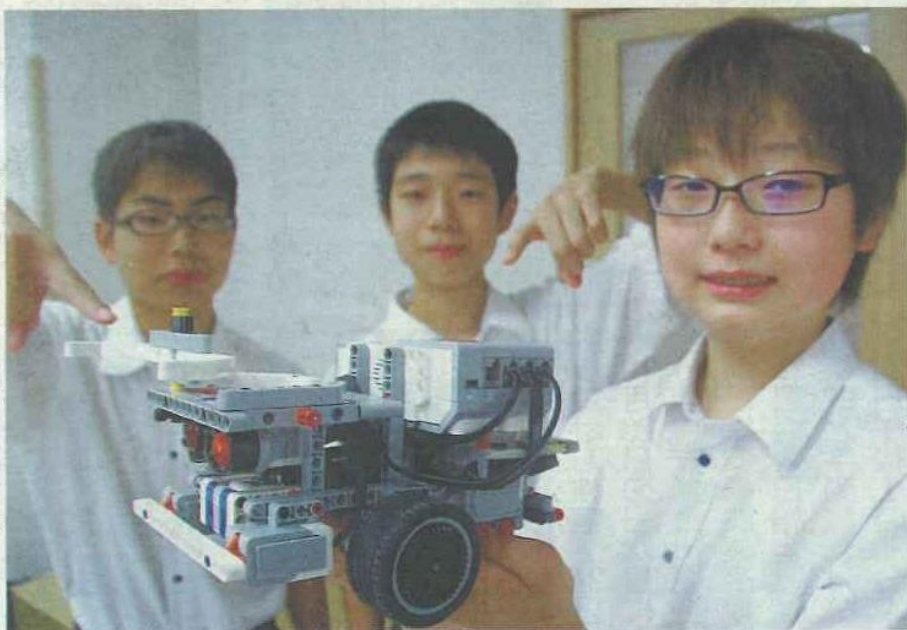
が思い通りに動いたの

でほっとした。全国で

優勝できるように頑張

りたい」と意気込んで

いる。(北原 哲)



県大会で優勝したロボットを持つ小林君、山本君、百瀬君(左から)